

木材・プラスチック再生複合材部会 2021年度活動方針

当部会では昨年度より2社が退会し活動の中心となる事務局員も減少したことから、本年度は大幅な事務局会運営体制の見直しを行いました。具体的には負担の大きかった事務局を2名体制とし、事務局員の分科会への参加は一つのみとすることで兼任を無くします。また、各分科会には、リーダー、サブリーダーを置き、この2名を運営の中心とすることで、より実質的な成果に結びつけられる体制とします。各分科会の活動内容も、的を絞った具体的なものとする事で限られた予算・人員でもWPRCの普及、会員各社様事業への貢献ができるよう取り組んで参ります。

このような基本的な考え方にに基づき、以下に示す課題を設定致しました。

本年度重点課題

1. WPRCの市場拡大のための普及広報活動を行う。

1) 情報発信

CLOMAを通じ海洋プラスチック問題等に対するWPRCとしての提案を進めると共に関連省庁への働きかけを進めていく。具体的には普及広報分科会を中心にCLOMA会員向けのオンラインプロジェクト提案会への参加等によりWPRCの認知向上と共にビジネスマッチングの機能を活かし、市場の拡大を図る。

2) 情報収集

CLOMAや日本プラスチック工業連盟を通じて、プラスチック・リサイクルの最新情報を入手し、今後の多回リサイクルへの参考情報として会員企業間で共有する。

2. 市場要求を踏まえたWPRC共通のガイドラインの検討を進める。

- 1) 一昨年、及び去る6月に行われた日本建設業連合会と標準化分科会による意見交換会により得られた情報を踏まえ、WPRCの設計・施工に関する共通のガイドラインの整理、開示を図る。

3. 国際標準化事業への支援活動を行う。

- 1) 2021年度経産省委託事業「グリーン建材・設備製品に関する国際標準化」の分科会活動について、ISO/TC61/SC11国際会議でのDIS提案に向けた支援を進める。

4. 政府広報活動への協力を行う。

- 1) 昨年に引き続き「Japan Home & Building Show 2021」への参加を予定。

5. ホームページの維持・更新による情報発信、会員募集を行う。

- 1) 環境指標WGの若手メンバーを中心に、動画コンテンツの制作・掲載をはじめホームページの刷新を図り、WPRC部会会員数増を目指す。